

グアテマラ経済（2011年11月）

平成24年6月
在グアテマラ日本国大使館

『11月の主な動き』

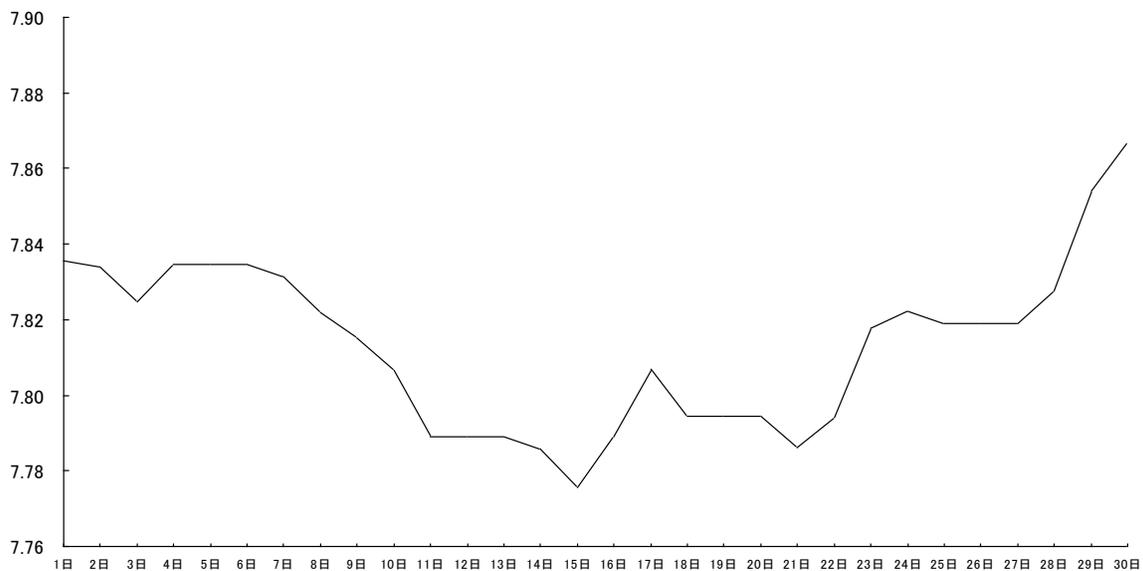
- 11月、対米ドル・ケツアル為替は1ドル=7.776~7.867の範囲で推移した。
- 11月、消費者物価指数は前年同月比で6.06%の上昇となり、年率では23ヵ月連続して上昇した。
- 11月、外国からの送金額は前月比で減少したものの、4ヵ月連続前年同月額を上回った。
- 24日、国会は2012年度国家予算を承認した。
- 10日、ロシアのSolway Investment Group Limited, Inc社は、イサバル県エル・エストロール市でのニッケル採掘のため、ニッケル・グアテマラ社（Compañía Guatemalteca de Níque ; CGN）を買収した

1. 主な経済指標

(1) 為替レート（中銀）

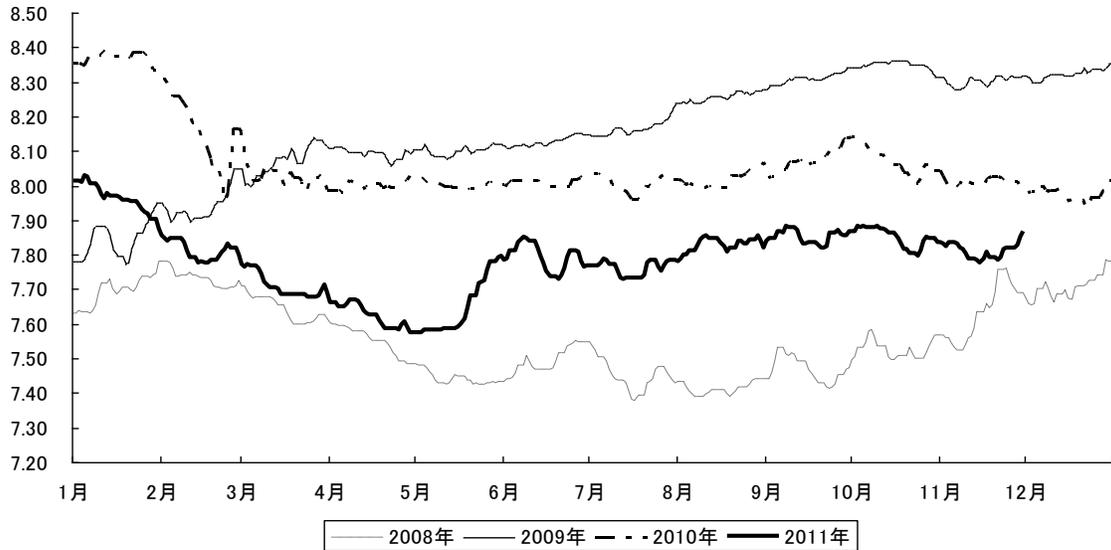
11月、ケツアルの対米ドル為替相場は、1ドル=7.776~7.867の範囲で推移した。11月30日時点の為替レートは同月初頭に比べ0.0312ケツアル安ドル高の1ドル=7.8669ケツアルであった。

ケツアル対ドル相場の推移：2011年11月



(出典：グアテマラ中央銀行)

ケツアル対ドル相場の推移：2008年-2011年

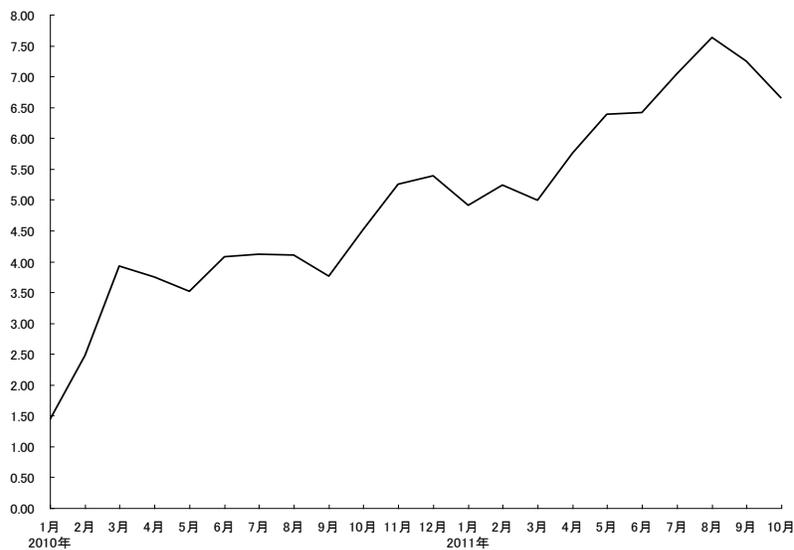


(出典：グアテマラ中央銀行)

(2) 消費者物価指数 (国立統計院)

11月、消費者物価指数は前月比で0.22%上昇した。一方、前年同月比でも6.06%の上昇となり、年率では2010年1月以降23ヵ月連続して上昇した。

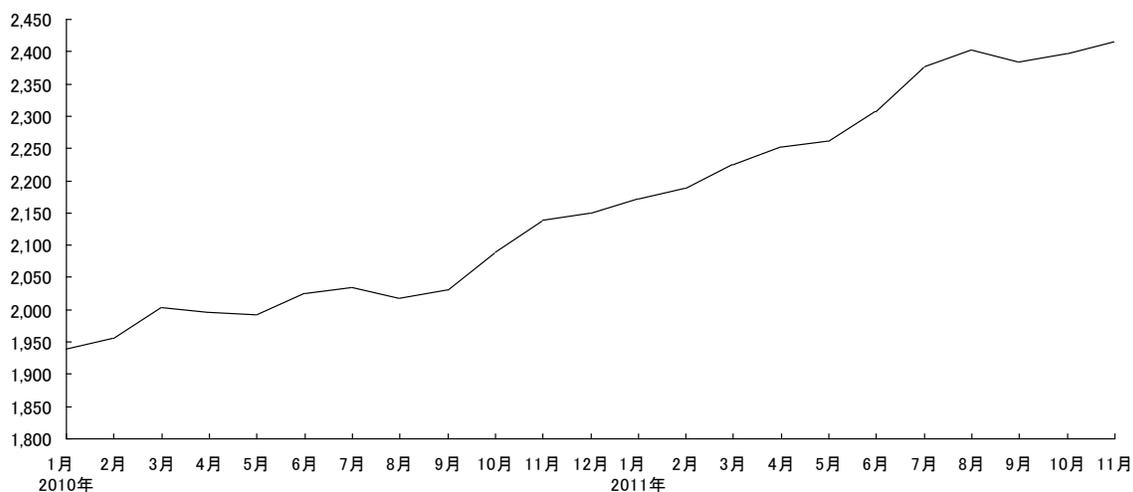
消費者物価変動率(対前年同月比:%)：2010-2011年



(出典：国立統計院)

基礎的食料品バスケット（Canasta Básica de Alimentos: 1世帯5.38人分のカロリーとタンパク質の摂取を満たす最低限の食料26品目）価格は、前月比18.30ケツアル増の2,415.60ケツアル/月となった。

基礎的食糧品バスケット価格：2010-2011年
（単位：ケツアル）



（出典：国立統計院）

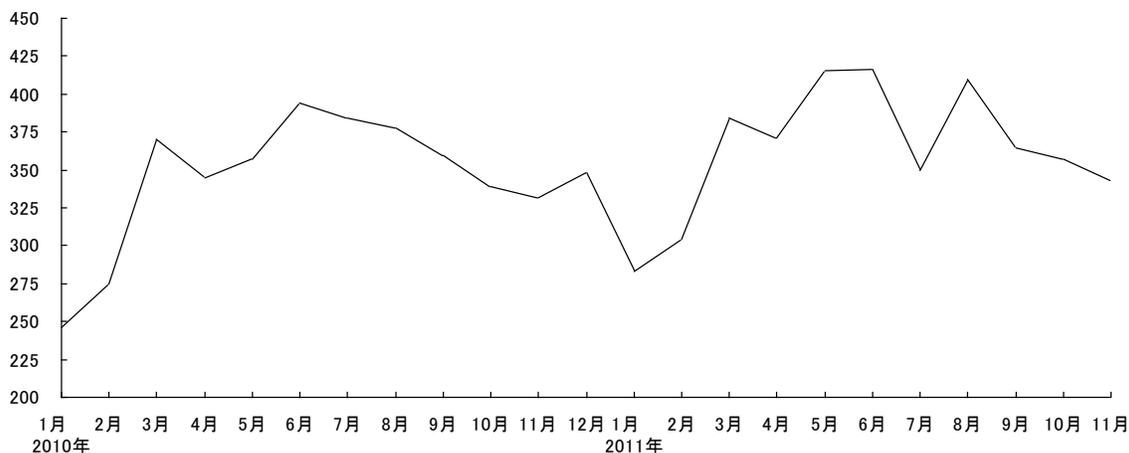
また、基礎的生活バスケット（Canasta Básica Vital: 基礎的食料品バスケットに、生活に不可欠な財と最低限のサービスを加えたもの）の価格も、前月比33.43ケツアル増の4,408.03ケツアル/月となった。

(3) 外国からの送金 (中銀)

11月、外国からの送金額は前月に比べ減少したものの、前年同月比3.67%増の3億4,350万ドルとなり、4ヶ月連続で前年同月額を上回った。

外国からの送金額：2010-2011年

(単位：百万米ドル)



(出典：グアテマラ中央銀行)

2. 国内経済トピックス

(1) 2012年度国家予算の承認

(ア) 24日午前3時過ぎ、国会は約16時間に及んだ審議を経て、現野党(次期与党)PP及び同党に協力する各党による過半数の賛成を得て、2012年度国家予算案を承認した(なお、当国における国家予算成立期限は11月30日)。なお同審議中、野党LIDER議員が同予算案審議阻止を試みる行動に出たほか、現与党UNE及びLIDER議員37名が同予算案に反対した。

(イ) 2012年度予算は今年度予算(543億9,090万ケツアル)比8.65%増となる595億4730万ケツアルとなった。また2012年度予算においては、内務省、農牧省、通信インフラ住宅省、文化・スポーツ省向け各予算についてPPによる予算増額案が認められた。

(ウ) 2012年度予算案では、各省によるNGOに対する契約に関し、いわゆる「グレー事業」と呼ばれる公共建設事業ならびに社会プロジェクトの業務については禁止された。

(エ) また同日には、借款案件3件(米州開発銀行(IDB)案件2件、世銀案件1件)についても承認された。

(2) 熱帯性低気圧12Eによる被害状況

2日、農牧省は、10月の熱帯性低気圧12Eの被害につきまとめた報告書を発表した。同報告書によれば、当国の被害総額は521.04百万ケツアル、被害面積は940マン

サナ、被災世帯は66, 120世帯に達した。最も被害が甚大であったのが農林水産部門であり、レモン、パパイヤ、マンダリンオレンジ、メロン及びアボガド等の国内消費用作物の他、ゴマ、タバコ、コーヒー、バナナ及びサトウキビ等の輸出用作物も被害を主な被害を受けた。

(3) 2011年の当国失業率

10日、国立統計院は、労働所得調査(ENEI2011)の結果概要を発表した。同調査によれば、前回調査時(2010年)と比較し、経済活動人口は5.7百万人から5.8百万人に増加した一方、失業人口は27,261人増の230,137人となり、失業率は4.06%となった旨明らかとなった。なお、就業可能人口は対前年比1%増の5,836,341人。また、当国の平均所得は1,966ケツアルと最低賃金(2,187.54ケツアル)よりも低い結果となった。

(4) 2011年生活実態調査結果

15日、国立統計院は、生活実態調査(ENCOVI2011)の結果概要を発表した。同調査によれば、貧困率(一日当たりの所得が12ケツアル~24ケツアル)は53%、最貧困率(一日当たりの所得が12ケツアル未満)は13.3%となり、最貧困率は前回調査時(2010年)から1.9%減少したものの、未だ国民の半数以上が貧困状態にあることが明らかとなった。

3. 対外経済トピックス

(1) 2011年第2四半期中米域内の貿易総額

1日、SIECAは、2011年第2四半期中米域内の貿易総額が1,802百万ドルに上り、対前年同期比20.1%増となった旨発表した。右総額の内訳は、グアテマラが684百万ドル、エルサルバドルが460.9百万ドル、コスタリカが351.2百万ドル、ホンジュラスが196.8百万ドル、ニカラグアが108.7百万ドルとなり、依然として当国が域内貿易を牽引している。

(2) ロシア企業によるニッケル産業への投資

10日、ロシアのSolway Investment Group Limited, Inc社は、イサバル県エル・エストール市でのニッケル採掘のため、ニッケル・グアテマラ社(Compañía Guatemalteca de Níquel; CGN)を買収した旨発表した(現段階でCGN社株の99%を購入した由)。CGN社新社長に就任したKudryakov氏は、今後5年間で25,000トンのニッケル生産を目指しており、総額1,450百万ドルの投資を計画している旨述べた。

(3) 2011年第2四半期中米域内の貿易総額

1日、SIECAは、2011年第2四半期中米域内の貿易総額が1,802百万ドルに上

り、対前年同期比20.1%増となった旨発表した。右総額の内訳は、グアテマラが684百万ドル、エルサルバドルが460.9百万ドル、コスタリカが351.2百万ドル、ホンジュラスが196.8百万ドル、ニカラグアが108.7百万ドルとなり、依然として当国が域内貿易を牽引している。

(4) 対中国関係

22日、ペレス・モリーナ次期大統領は、次期政権の経済政策の一つとして、台湾との外交関係を損ねることなく、中国との通商関係促進を模索していく意向である旨明らかにした。

(了)